



コニカピクチャー MD システムは、MD データディスクを採用したデジタル画像処理システム。

急速なパソコンや周辺ソフトの充実により拡大しつつある静止画像領域の新マーケット、“デジタルイメージング”へ、これまで銀塩で培ってきた技術を活用し、銀塩とデジタル画像それぞれの長所を生かした、新システムを導入いたします。

コニカピクチャー MD システムは、135 サイズのネガやポジフィルムの画像を高速で MD データディスクに書き込む MD ライター、簡単な操作で画像編集・加工を行う MD エディター、プリントや印刷原稿を入力する MD イメージスキャナー、画像情報をカラー印画紙に直接出力する CRT プリンター及びサーマルプリンターなどで構成されます。複雑な操作・手間のかかるデジタル画像処理を「素早く、簡単に、高画質に」行います。

■ディスク 1 枚に高画質な画像を最大 200 コマ収録

MD データディスク 1 枚に、標準解像度 (1024×1536 画素) で 200 コマ、高精細解像度 (2048×3072 画素) で 100 コマの収録が可能です。

■データの書換・消去が自由自在

書換・消去が可能な MD データディスクが記録媒体ですから、入力画像の並べ替えや消去などの編集が自由自在です。

■データ処理がスピーディ

MD ライターの画像書込速度は、標準解像度で写真 1 枚わずか 8 秒。24 枚撮りネガフィルムなら、約 3 分で入力できます。また、MD エディターは、画像合成や色調整、トリミングやモノクロ変換などの画像加工を簡単・スピーディに処理します。

■操作が簡単

使用頻度に応じたキー配列、モニターによる操作ガイダンス表示などにより、初めての方でも簡単に操作出来ます。

■多彩な画像加工・編集に対応した機種拡張が可能

MD エディターは、簡易なレイアウトなど画像加工・編集が誰でもスピーディに行えます。また、MD データドライブを介してパソコンと接続すれば、ほとんどのパソコンに画像を取り込むことが出来るので、市販の編集ソフト等で高度な画像加工処理も可能です。

■画像データは銀塩ペーパーに直接出力

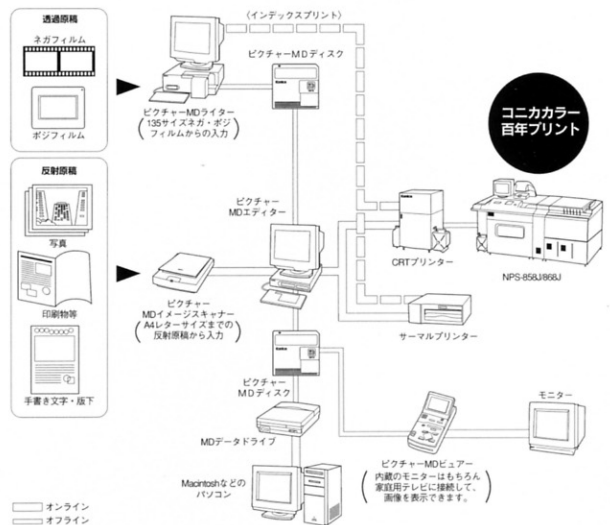
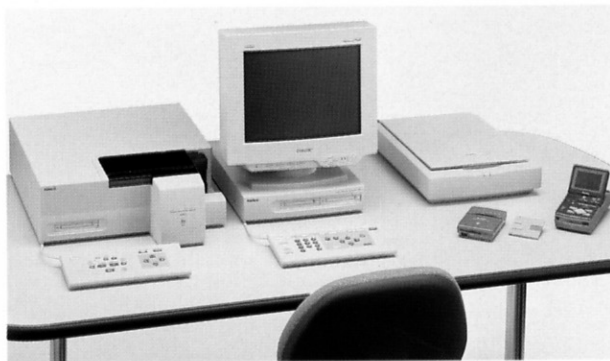
コニカ CRT プリンターにより、画像データをコニカカラー百年プリントペーパーに出力できます。専用サーマルプリンターでの対応も可能です。

■インデックスプリントの出力も容易

画像データを、CRT プリンターやサーマルプリンターを用いて、容易にインデックスプリントできます。

■省スペースのデスクトップタイプ

コンパクトにまとまっていますから、スペースに応じてシステムを自由に設置できます。



近年のデータ処理高速化とパソコンの普及に伴い、デジタル画像処理が大きな注目を集めています。画像処理をデジタルで行っても最終的にはプリントアウトが必要になってきます。様々なデジタルプリンターがある中で、普通の銀塩印画紙（コニカカラー QA ペーパータイプ A6）に出力することにこだわり、CRT プリンターを開発し、豊かな階調再現・優れた画像保存性・低ランニングコスト等の特徴を実現いたしました。

コニカ CRT プリンター DP-8180 はあらゆるデジタル画像データを取り込み7インチモノクロ CRT 上に表示し BGR 3 色分解露光で銀塩印画紙（QA-A6）に露光する装置です。豊かな階調再現・抜群の画像保存性・低ランニングコスト等銀塩印画紙の優れた特徴を備えつつ、デジタルならではの画像加工・編集が自由に行え、高付加価値デジタルプリントが簡単に作成できるプリンターです。また、ペーパーの現像処理に NPS-8 シリーズミニラボが使える等、処理の安定性・便利性にも配慮がされています。

■優れたカラーマッチング

デジタル画像処理の悩みのひとつがディスプレイモニター表示の色調とプリントの色調が整合しないことです。ディスプレイ上で鮮やかに仕上げた画像をプリントアウトしてがっかりした経験のある方も多いと思います。

DP-8180 は独自のカラーマッチング技術によりあらゆる画像データを最適なプリントバランスに調整し、更にディスプレイの画像と実際の仕上がりプリントが非常にリアルにマッチしています。

■デジタル処理では最高のクオリティ

銀塩感材独特の質感を始め、階調の豊かさ等、従来の

デジタルプリントとは一線を画したハイクオリティを実現しています。写真並みのクオリティとデジタルならではの画像取扱いの自由さを合わせ持っています。

■抜群の画像保存性と低ランニングコスト

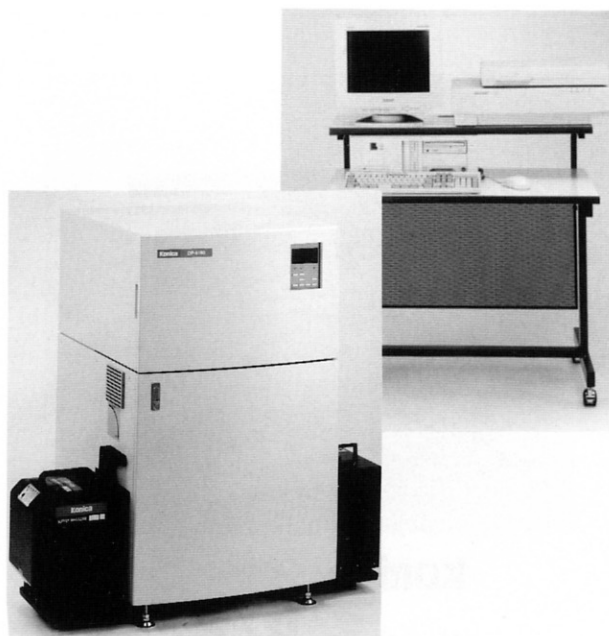
画像保存性には定評のあるコニカ QAA6 ペーパーを使用しますからプリントは 100 年以上その鮮やかさを保ちます。また、ランニングコストもサーマルプリンターの 1/3 以下でとても経済的です。

■幅広い入力フォーマット

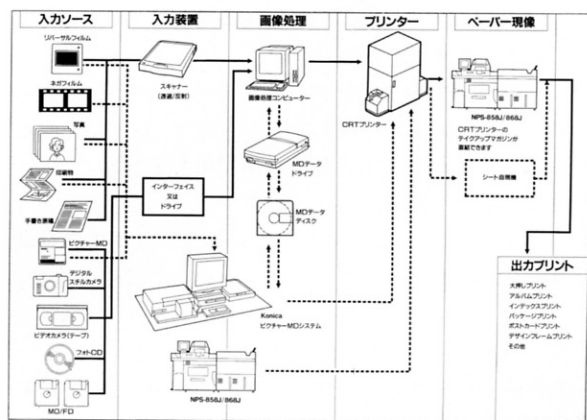
コニカピクチャーMD システムをはじめとし、フォト CD・デジタルスチルカメラ・各種スキャナー等ほとんど全てのデジタル画像ソースからプリントを出力できます。入力した画像データは専用のパソコンにインストールされたアプリケーションソフトウェア及びフォトショップ 3.0 J で編集加工が自由自在に行えます。

■環境保全にも優れています。

CRT プリンターは銀塩印画紙を使用しますので、ドナーやインクリボン等の廃棄物がありません。また、現像機に使用するフレンジージェットは排液を従来の 1/2 以下に減少させたシステムです。益々重要視されている環境保全にもフィットしたシステムです。



CRT プリンターのシステム構成図



フルカラーデザインシステム コニカ ハイカラー Ri 絵

今回新たに販売を開始した、操作性と手軽さを旗印とした大判のポスター作成を主目的とするフルカラーデザインシステム コニカ ハイカラー Ri 絵をご紹介します。

コニカ ハイカラー Ri 絵は誰にでも簡単に手軽に大判のフルカラーのポスター等のプレゼンテーションを作成できることを目標に開発したシステムです。

これは市場で好評を博した「コニカレーザーポップライター Ri 絵」を大幅に拡充し、新たに大判ポスターも作成できる様に開発したものです。広告代理店やデザイン事務所等、流通、サービス業のニーズにお応えするだけでなく、光沢フォト紙に高画質プリントすることにより、オリジナル写真ポスター作成の様新しいニーズにもお応えするシステムです。

このシステムの基本構成は、使い易い画像処理/デザインソフトウェア、多彩な文字フォント、汎用パソコン、高画質のプリンタ、イメージ入力のスキャナからなり、マウスを基本とした簡単な操作により、特別な技術を使うことなく、誰にでも直ぐに余り時間を掛けることなく、フルカラーの大判ポスターを作成することが出来ます。

◆コニカ ハイカラー Ri 絵の主な特長

①簡単操作で誰でも扱える

レーザーポップライター Ri 絵で培った使い易い、簡単な操作を基本としていますから、誰でも、直ぐに（ポップライターの研修は2日）ポスターを作成することが出来ます。簡単操作だけでなく、高度な作業を行うことも出来ます。

②イメージ画像は写真のように

イメージ画像はコニカ独自の誤差拡散方式を使って、インクジェットプリンタでもフルカラーの写真に匹敵する豊富で忠実な色の画像をプリントできます。プリンタやプリントするメディアにより表現される色が変わりますが、メディアに対応したカラーテーブルを提供しますから忠実な色再現が可能となっています。

③文字やイラストはくっきり

文字やイラストなどのデータはベクトルとして扱われますので、大きく拡大してもジャギー（拡大すると線や縁がギザギザになること）は発生しません。

④導入の日から作業開始

ハイカラー Ri 絵はシステムのセットアップまでを供給サイドで行うターンキーシステムとして提供します。ターンキーシステムですから設置したその日からスイッチを入れてポスターを作ることが出来ます。

⑤一度作成したデザインは文字やイメージを入れ替えて再利用

デザインソフトウェアはレイアウトを基本にポスター

の構成を作成します。文字は文字、イメージはイメージで入れ替えは簡単に自由に出来ますので、レイアウトデータを保存しておくで文字とイメージを入れ替えることで素晴らしいポスターを瞬間に作る事が出来ます。

◆コニカ ハイカラー Ri 絵のシステム構成

機器名	仕様
パソコン	CPU : i486DX2 (66Mhz) 以上 メインメモリ : 64 MB 以上 ハードディスク : 300 MB 以上 ディスプレイ : 17インチ、SVGA 対応
スキャナー	最大有効画素 : 3400×4680ドット (400dpi) 読取データ : 各色 8 ビット/画素
インクジェットプリンタ	インクジェット方式 (4個独立カートリッジ使用) 最大用紙幅 : 917mm 分解能 : 300×300dpi 用紙種類 : 普通紙、コート紙、光沢紙、光沢フィルム
KP9728プリンタ	乾式電子写真方式 用紙サイズ : A3~B6 解像度 : 400dpi 表現色 : 1670万色 用紙種類 : 普通紙、HOPフィルム等
ソフトウェア	画像処理 : スキャナ機能、マスク機能、画像合成、コピー、色調整、ペン、ブラシ、スプレー、刷毛、グラデーション等 デザイン : 文字枠、イラスト枠、イメージ枠、各種オブジェクト作成、オブジェクト修飾(色、タイル、影付け、線幅縁取り、文字加工、文字揃え)等 画像取込 : PCD、JPEG、BMP、TIFF 図形のベクトル化、ベクトル編集 データ管理 : ファイルのコピー、移動、削除、メディアのフォーマット等
フォント	和文9書体、英文5書体、オプション和文5書体



Konica

ハイカラー Ri 絵
Full Color Design System

明室超迅速処理システム コニカ RST EXPRESS

コニカは、印刷製版分野で好評を得ているコニカ RST システム技術を基本に今回、新しい返し専用の明室超迅速処理システム「RST EXPRESS」を IGAS 95 にて発表しました。これは現在、製版のフィルムメーカーの大半を占める返し作業での生産性向上、処理時間待ちによるストレスの軽減を図った従来の 2 倍速度 Dry to Dry 45 秒の処理で、専用自動現像機 2 種類と適合感材 7 品種をラインアップした画期的な処理システムです。

製版工程のデジタル化が日進月歩の勢いで進んでいるとは言っても、まだまだ現在の製版の各プロセスに於いては、人手を使った手作業が多く存在しています。その中で、特に集版工程は多くの人手を使う非常に手間のかかる工程であり、生産性向上が切望されております。

コニカはこの要望の実現に向けて、超迅速処理では欠かせない高い現像性と充分な乾燥性が得られる薄膜技術採用の感光材料、汚れを発生させない処理剤そして、世界最高速の自動現像機を開発する事で達成致しました。

◆コニカ RST EXPRESS システムの主な特長

1. 速さの違い

処理スピードが Dry to Dry 45 秒と格段に速くなっています。通常大全サイズ 1 版処理する時間で、4 版全てのフィルムを処理することが出来ます。1 日の中で仕事が集中する時間帯や、飛込みの仕事が入った時には大変な威力を発揮します。

2. 生産能力の違い

格段に速くなった処理スピードにより、自動現像機も従来品に比べ、2 倍に近い処理能力、つまり 1 台の自動現像機で 2 台分の処理能力を発揮します。又、高品位な仕上りを維持したまま、安定した大量生産を実現しました。

3. 品質と安定性の違い

現在のコニカ RST システムの品質特長をそのまま継承し、忠実な再現性、良好なヌキ文字品質、高い濃度、優れた寸法安定性そして、高い処理安定性等を堅持しています。

4. 補充容量と環境対策の違い

EXPRESS の感材群、処理剤そして専用自現機の組み合わせにより、処理補充量が現像液 33 %、定着液 17 % も減少し、廃液量も減って回収コストが大幅にダウンします。

また、自動現像機には水垢防止節水装置「水きれい」が内蔵でき、水洗ラックに付着する水垢発生を防ぎ、且つ節水の水洗水も排水基準をクリアしており、安心して流せます。

5. 操作性の違い

自動現像機 GX680/GX960 は、都市型産業に合せたコンパクト設計に加えて、対話方式による操作パネルを採用しています。イージーオペレーションで高精度な管理が出来るうえ、警告ブザーとエラー表示等、安全で扱い易い設計となっています。

◆コニカ RST EXPRESS システムの構成

(感 材)

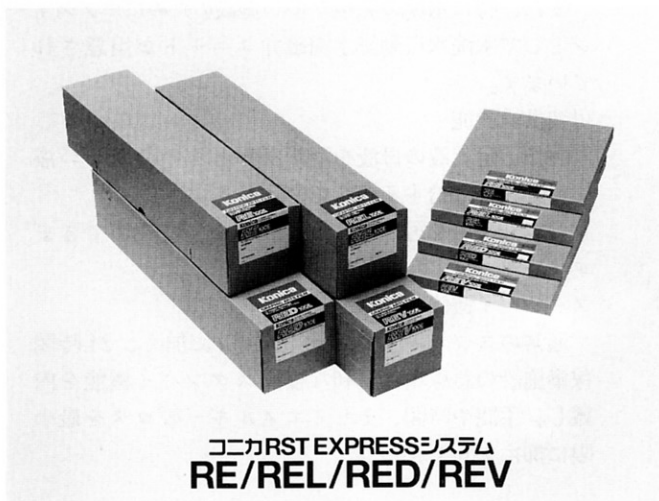
コニカ RST EXPRESS コンタクトフィルム	RE
コニカ RST EXPRESS コンタクトフィルム	REL
コニカ RST EXPRESS コンタクトフィルム	REV
コニカ RST EXPRESS デュプリケータリングフィルム	RED

(処理剤)

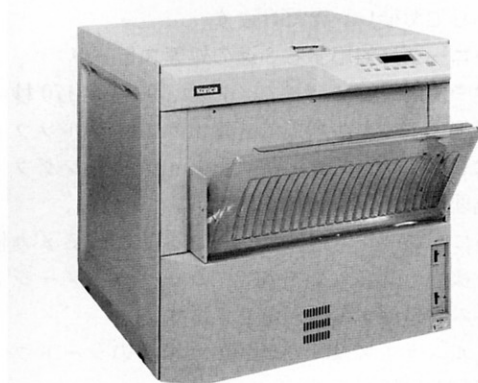
コニカ デベロッパー	タイプ 691
コニカ フィクサー	タイプ 881

(機 器)

コニカ オートマチックプロセッサ	GX-680
コニカ オートマチックプロセッサ	GX-960
コニカ ミキサー	SM-8



コニカ RST EXPRESS システム
RE/REL/RED/REV



コニカ オートマチックプロセッサ
GX680/GX960

コニカは医用目的の自動現像機としてSRX シリーズを商品化し、お客様から高い評価をいただいております。近年マンモ診断と分散設置の増加に伴い、自動現像機の高画質化と省スペース化のニーズが高まってまいりました。

そこで今回、大型機並の高画質と設置面積 0.5 m² 以下の省スペース化を目的としたケミカルミキサー内蔵の中型自動現像機 SRX-201 の商品化を行いましたのでご紹介いたします。

◆主な機能及び特長

①ケミカルミキサー内蔵のコンパクト設計

本体の前面下部には処理安定性の高いケミカルミキサーを内蔵しました。

しかも、本体設置面積わずか 0.429 m² (挿入台含まず) というコンパクト化の実現により、自動現像機周辺のトータル設置面積が大幅に節減できます。

さらに、施設のニーズに合わせた外部ケミカルミキサーや補充タンクも使用できる柔軟な設計です。

②簡単操作

操作パネルには温度表示、エラー表示とカートリッジ交換サインのみのシンプルなデザインを採用しました。

情報の簡略化と同時に、スイッチの色・大きさ・角度など人間工学に基づいた扱いやすく、見やすい表示です。

③環境にやさしい低補充量・低廃液量を実現

現像・定着液ともに現行システムの約 1/2 (当社比) の低補充量・低廃液量を実現しました。

さらに、不快であった定着液の臭気を低減することで作業環境も大幅に改善されます。

また、現像・定着の補充キットは軽量の一体型カートリッジですので、自動現像機の前面にて交換が簡単に行えます。

1 キットの装填で四切サイズのフィルムが約 200 枚処理でき、カートリッジの交換時期は、操作パネル上の交換サイン表示とブザーによってお知らせしますので安心してお使いいただけます。

④マルチニーズに対応する 3 速の処理スピード

用途や使用目的に応じて、60 秒、90 秒、170 秒の 3 速の処理スピードが選択できますので、オルソフィルムをはじめ、マンモフィルム及びイメージングフィルムの処理が行えます。

さらに、フィルム検出はリード SW によるメカ検出方式を採用しておりますので、レーザーイメージングフィルムも処理することができます。

フィルムサイズは、カビネから半切のシートフィルムの処理が可能です。

しかも、半切サイズの横通し (17 インチ幅) や六切

サイズ以下の同時 2 枚処理 (手挿入時) ができますので、より効率的なフィルム処理が行えます。

⑤高画質化、処理安定化新技術

○双方向循環方式

現像・定着液をより高活性にするためにラックとパイプを一体型にし、ラック内循環をスムーズにしました。

これにより現像・定着性能が大幅に向上しましたので、高速 60 秒処理においても高画質で安定した写真が得られます。

○処理安定化技術

蒸発防止カバーと搬送ラックを一体化することで液疲労を最小限に抑えることができます。

○セーフティ機能

自動現像機の蓋があいているときに駆動を停止するインターロック機能やレーザーイメージングフィルムを処理するときに必要な全消灯モード機能など多彩な安全機能を搭載していますので、安心してご使用いただけます。

⑥イージー&クリーン技術

○渡りラック洗浄機構

現像・定着行程の渡りラックローラーの清掃を自動的に行う機構を作用しました。

この機構の採用により、液外ローラーが常に洗浄されるため、従来のように毎日ラックを清掃する手間がなくなりました。

また、特に水垢の発生が多い施設のためにオプションとして水洗水自動排水電磁弁ユニットが用意されています。

○母液供給機能

現像・定着液の母液を更新するときに、新しい液を自動的に供給する機能を内蔵しました。

お客様の手を汚すことなく液の交換作業ができます。

○スタンバイ機能

通常のスランバイ (0 ~ 30 分) に加え、24 時間稼働施設の急患用に便利な夜間スタンバイ機能を内蔵し、手間や時間、そしてエネルギーのロスを最小限に抑えました。

⑦システムを構築する充実した周辺機器群

SRX-201には、レーザーイメージャや各種オートフィーダ・デーライト機器などが接続できますので、専用処理機として独自の明室フィルム処理システムを作ることができます。

⑧コニカ新SR処理薬品SR-DFⅡ

SRX-201用に開発された処理薬品で、一体型軽量カートリッジを採用した現像定着液は、低補充化・低臭気化を実現した作業環境・自然環境にとってもやさしい処理薬品です。

SRX-201の主な仕様

型式	: 連続ローラー搬送方式
処理時間	: 60秒/90秒/170秒
処理可能フィルムサイズ	: カビネ〜半切までのシートフィルム
処理能力	: 60秒処理……………四切200枚/時 90秒処理……………四切140枚/時 170秒処理……………四切80枚/時
処理タンク容量	: 現像……………7.81/定着……………5.61/水洗……………4.41
処理温度	: 60秒処理(SR-DFⅡ) 現像34℃
水洗温度	: 5℃〜現像設定温度-5℃
水洗水量	: 31/分
温度調節制御	: 現像・定着・乾燥共にサーミスタによる自動温度制御 現像温度制御は±0.3℃
循環方式	: 現像液・定着液共にラックとパイプを一体型にした双方向循環方式
フィルム検出	: リードSWによるメカ検出方式
補充方式	: フィルムを挿入するごとに面積演算し、定量補充ポンプにより高精度に補充を行う
調液	: 内蔵ケミカルミキサーによる
スタンバイ機能	: 通常・夜間の2種類
電源	: AC単相200V 50/60Hz アース付き
消費電力	: 約3kVA(15A)
外形寸法	: W650×D660(挿入台含まず)×H1100mm
質量	: 約135kg(処理液装填時約190kg)



コニカは、1995年2～4月にかけてタイプの異なった3機種コンパクトカメラを発売しました。高変倍ズームレンズを搭載しコンパクトなボディサイズにまとめた『ビッグミニ NOU (ヌー) 135』ミニ三脚を内蔵したワイドズームコンパクトカメラ『ビッグミニ Standa (スタンダ)』スリムでコンパクトなフルオートカメラ『K - mini』をご紹介します。



◆コニカ『ビッグミニ NOU 135』の特徴

①高変倍ズームカメラで世界最小・最軽量

ズームレンズの高倍率化は、ボディサイズの大型化につながっていましたが、『ビッグミニ NOU 135』は、38～135mmの3.6倍ズームレンズを搭載しながらも、群を抜くボディサイズのコンパクト化を達成しました。

②高性能の38～135mmズームレンズ

非球面レンズを採用した新設計の9群10枚のズームレンズは、高解像力・高画質を誇ります。測距にも従来より測距到達距離の遠い高精度AF・ICを採用し、より正確なピントを確保します。さらにズーム作動も静音設計がされており、静かな場所でもズーム音が気になりません。

③多彩な撮影機能と簡単操作

標準とパノラマの途中切り替え機能や多彩なフラッシュ撮影モードが組み込まれています。フラッシュはリトラクタブル式にすることで、大型発光部の必要性和カメラの小型化を両立させました。レンズ正面上部に配置されているフラッシュは、撮影時の影を自然に仕上げます。

また、各モードの液晶パネル上での選択も使いやすい一覧式とし、ダイヤル操作で簡単にモードを選べます。

④リモコン撮影も可能

赤外光を利用した高性能リモコンにより、カメラ正面約5mまでのリモコン撮影が可能です。カメラのパワースイッチがONの状態になっていれば、リモコンモードを選択することなくいつでもリモコン撮影ができます。

◆コニカ『ビッグミニ NOU 135』の主な仕様

レンズ	38～135mm F3.6～9.8 9群10枚
シャッター	絞り兼用プログラム電子シャッター 3.2秒～1/280秒
フィルム給送	電動式 自動装填・巻き上げ・巻戻し
フラッシュ 撮影範囲	電動でスウィングアップ、スウィングダウンするリトラクタブル機構 低輝度自動発光 f 38mm 0.8～14.0m (ISO400) f 135mm 0.8～5.2m (ISO400)
電源	リチウム電池(CR123A, DL123A : 3V) 1個
大きさ 重さ	119.5×68×49.5mm、280g (電池別)

ビッグミニ Standa (スタンダ) K-mini



◆コニカ『ビッグミニ Standa』の特徴

- ①ワイドに撮れる 28 mm ~ 70 mm 広角ズームレンズ
非球面レンズを採用した新設計の小型ズームレンズを搭載しています。広角側 28 mm レンズで F 3.5 は群を抜く明るさです。
- ②レンズカバーを利用したスタンド (三脚) 機構
レンズカバーを下方に開き、カメラ底部の 2 本の脚を左右に起こすと三脚になります。リモコンやセルフタイマーを使った集合写真やセルフポートレート、または夜間撮影などの長時間露光に便利な機構です。
- ③いろいろ使えるリモコン撮影
カメラ正面約 5 m までのリモコン撮影ができます。スタンド機構と相まって、その機能を発揮します。

◆コニカ『ビッグミニ Standa』の主な仕様

レンズ	28 ~ 70 mm F 3.5 ~ 8.4 5群6枚
シャッター	絞り兼用プログラム電子シャッター 3.5 秒 ~ 1/360 秒
フィルム給送	電動式 自動装填・巻き上げ・巻戻し
フラッシュ 撮影範囲	内蔵固定式、低輝度自動発光 f 28 mm 0.8 ~ 11.2 m (ISO 400) f 70 mm 0.6 ~ 4.8 m (ISO 400)
電源	リチウム電池 (CR123A, DL123A: 3 V) 1 個
大きさ 重さ	122 × 69.8 × 45.2 mm、270 g (電池別)

◆コニカ『K-mini』の特徴

- ①シャッターを押すだけのフルオート
被写体が暗いと自動的に発光するオートフラッシュ、内蔵モータによるフィルムの自動装填・巻き上げ・巻戻しを装備しています。
カウンターは見やすい液晶で表示をします。
- ②ナチュラルでスリムなデザイン
ナチュラルでスリムなデザインは色鮮やかな赤・青・黒のボディカラーとともにひととき目立ちます。
- ③シースルーケース
パッケージにはフック式のシースルーケースを採用しそのデザインカラーリングを引き立てます。

◆コニカ『K-mini』の主な仕様

レンズ	28 mm F 6.7 3群3枚
シャッター	ビハインド式、メインスイッチ OFF でシャッターロック、自動露出
フィルム給送	電動式 自動装填・巻き上げ・巻戻し
フラッシュ 撮影範囲	内蔵固定式、低輝度自動発光 0.9 ~ 4.6 m (ISO 400)
電源	リチウム電池 (CR123A, DL123A: 3 V) 1 個
大きさ 重さ	110 × 61 × 32.5 mm、135 g (電池別)

Konica 7050 は、高生産性、高画質、高信頼性、コピーワークに有用な機能の追求、そして拡張性をコンセプトとして開発された、多機能な、汎用機としては国内最高速のモノクロデジタル複写機です。

①高生産性

多数枚の原稿を読み取り、圧縮してメモリに記憶、その後は必要なページをメモリから伸張して複写できる“電子RDHシステム”、又、両面コピーにおいて、コピー紙をスタックすることなく送り続ける“Non-Stack ADU方式”を新しく開発。ソーターシステムの使いにくさを一掃すると共に、従来のアナログ機のRDHシステムにはない、高いコピー生産性、及び信頼性を実現しました。

②高画質

400 dpi の解像度、256 の階調性はもとより、画質の変化を押さえ、濃度のリニアリティを改善するための“自動ガンマ補正機能”、原稿の文字、写真、網点領域を自動的に判別し、それぞれの画像に応じて最適の画像処理を施すための“自動画像判別機能”を搭載することにより、高い画質レベルとその安定性を長期に渡って実現しています。

③高信頼性／高速性

今回新しく開発した“2ビームレーザー書き込み系”、高速機Konica 6192で培った給送技術の積極的導入により、これまでの汎用デジタル複写機の上をいく、高い給送信頼性、毎分50枚の高速コピースピードを実現しました。

④高機能

パンフレットの作成等に最適な、2枚の原稿（両面コピーを行えば4枚の原稿を）をまとめて1枚の紙にコピーできる“2 in 1（4 in 1）”、多数枚、多数部数をコピーする際、1部のみ出力し仕上げを確認できる“シングルステップ”、プラテンをあけてコピーをしても原稿の周りの影がでない“原稿外自動消去”等、お客様の立場に立った、複写機をより使いやすくするための機能を数多く搭載しました。

⑤拡張性

ビデオインターフェースユニットを用いて、現在開発中のプリントコントローラーを接続すれば、400/600 dpi 対応のプリンターとしても活用することができます。



デジタル複写機 Konica 7050（フィニッシャー FS-102付）

U-BIX1015のシリーズ機として開発され、コンパクトボディに高画質性能を有し、省エネ、エコロジー&オフィスアメニティが考慮された設計を踏襲し、更に使い勝手の良い便利な機能を付加し、お客様のニーズに合わせたシステムアップが可能で、多彩なオプションを備えたコストパフォーマンスの高い毎分20枚（A4）の複写機です。

①機能の充実・使い勝手の向上

U-BIX1015が有している機能に加え、静止タイプAPS（自動給紙選択）、AMS（自動倍率選択）等のオート機能、OHP合紙機能、任意倍率設定機能を新たに搭載し機能の充実を図りました。また、オプションのDB（ドロワーベース）を搭載することにより、6ウェイ多段給紙を可能とし、多種類の紙サイズを使い分けたり、再生紙との使い分けをすることができます。更に、万一の紙詰まりに備え紙除去が簡単にできる様にする為、前面開閉式クラムシェル構造を採用し、使い勝手の向上を図っています。

②システムバリエーション豊富なオプション

ADF（自動原稿送り装置）1種類、DB（ドロワーベースユニット）2種類（2段、3段）、ソーター3種類（10ピン、20ピン、10ピンステイプル）を搭載可能とし、お客様のニーズに合わせたシステム設定が可能である多彩なオプションを備えています。

③環境への配慮

静かなオフィスでも気にならない静音設計、長時間運転でも安心な低オゾン設計にてドイツの厳しい環境基準であるブルーエンジェルマークを取得しています。また、消費電力を節約する予熱機能やオートシャットオフ機能を搭載しており、オフィスの省電力化に貢献するエコロジー設計となっています。更にトナーリサイクル方式を採用することにより、廃棄トナーをなくし、環境への配慮を図っています。



Konica U-BIX 2120（ドロワーベースユニットDB-205B付）